

結果なんてのは誰にも分からないが、お前自身が後悔しないために人生で一番必死になれ！

なかのひとり  
中野 独人

入試は一見、他人との競争のように見える。だが、実際は弱い自分との闘いだ。人生には本気で、全力で、立ち向かわなければならない時が、いくつかやってくる。その時に、本気を出せるかどうかで、君の価値が決まる。受験生にとっては今が、その時だ。明日に向かって突っ走れ！



Turner

下山

## ◆ 萌学舎卒業生の「わが校」紹介 東工大附属科学技術高校2年 抜井比呂くん

ぼくが通っている学校は東京都港区にある東京工業大学附属科学技術高等学校です。本校は科学・技術科、いわゆる工業高校で応用化学科、情報システム科、機械システム科、電気電子科、建築デザイン科の計5つの分野があり、文部科学省に Super Science High school(通称 SSH)として認定されていて様々な授業の研究開発が進められています。応用化学科では普通高校では習わない専門的な化学を、情報システム科ではコンピュータを使ったプログラミング、機械システム科ではロボットなどの機械の設計製作、電気電子科では回路製作などの電気制御、建築デザイン科では空間デザインや住宅構造を学びます。一年次では普通教科を中心に学び、二年次からは5分野に分かれて本格的に分野専門科目を学んでいきます。三年生になるとこれまで学んできたことの専門知識を活かした課題研究という試練が待っています。これは自分でテーマを決め、約半年かけて詳しく研究・実践していくもので、本校で最も重要な課題です。この研究成果の出来によっては大学の推薦を受けられることもあります。本校は非常に自由度の高い学校で校則や制服はありません。生徒のほとんどが私服で登校します。学校の近くには NEC や三



菱電機など大手企業のビルが立ち並び、電車は毎朝超満員です。また昼休みには校外に出てコンビニやファーストフード店に行くことも可能です。本校では専門的な知識を非常に多く学ぶので、

その都度多大なレポートが課せられます。学年や分野にもよりますが、一回で平均5~6枚、年間およそ30回レポートを書き提出しなければなりません。たった一回でも期日までにレポートを出さなければ学年末評定は1、その時点で自動的に留年決定と非常に厳しいです。ですが、大学並みの勉強が出来、自由な校風の中で自分が興味を抱いていることに打ち込めるのはとても嬉しいです。受験生の皆さんの中に本校に興味を持った方がいたら是非一度考えてみてください。

## ◆ 入試直前の過ごし方

一か月後には入試が始まります。焦り始める人もいるかもしれませんが、ここは落ち着いて目標に向かって勉強を進めたいものです。そこで注意すべきことをいくつか挙げておきます。受験を来年・再来年に控えている人たちにも共通して言えることがあるので参考にしてください。

□規則正しい生活をおくる 学校が休みになると生活が不規則になりがち。いたずらに夜更かしなどすると体調を崩してしまいます。健全なる精神は健全なる身体に宿る。規則正しく生活し体調管理をしていきます。なお、入試は午前中におこなわれるので、この時期から朝型にきりかえていくようにします。

□目標を決める ダラダラやっても効果が上がりません。「15分でこの問題を解こう」などと時間制限をすることで集中力が高まり、スピードもつきます。また、「1日にこれだけはやる」というノルマを自分に課します。たとえば、中3の公立高校受験生には全国の理科・社会の過去問を渡していますが、これを1日1県分はやるといった具合に目標をたてます。47都道府県すべての問題を解いた受験生は毎年合格しています。そうやって苦手な理社を克服して川越女子高に合格したMさんは当時「解き続けていないと不安だ」と言っていました。焦りや不安に打ち勝つためには地道に勉強を進めるしかないのです。

□復習をして自分のものにする 授業や演習で間違えたところはまだ身についていないところ。しっかりと復習をして自分のものにします。入試特別講座や入試直前講座では実践演習をします。この講座は予習の必要がない分、復習は必ず出来るはず。復習しないと効果が半減してしまいます。

□マイナスの言葉は口にしない 「ムリだ」とか「イヤだ」とかマイナスの言葉を口にすると人々をときどき見かけますが、これは絶対によくないことです。自分自身にマイナスの暗示をかけていることになり、結局自分の力が発揮できないことになってしまいます。自分一人がよくない結果に終わるのなら自業自得ということになりますが、こういうマイナスの言葉は周りの人たちにもよくない影響を与えてしまうのです。マイナスの言葉を吐いてもよいことなど一つありません。今すぐやめよう。

□つらいときは合格後の自分をイメージする 楽しい春休みや入学後の学校生活を想像すれば、つらいときも乗り越えられます。(加藤)

## ◆ 行事予定

- |                                 |                       |
|---------------------------------|-----------------------|
| □ 12/21 2学期最終日                  | □ 12/22 休講(事務営業日)     |
| □ 12/23・24 入試特別講座(受験学年)         | □ 12/25 休講            |
| □ 12/26~1/7 冬期講習会(12/31~1/2は休講) | □ 1/8 休講 □ 1/9~ 3学期開始 |
| □ 1/12 入試直前講座,小5首都圏模試           | □ 2/2 中3北辰テスト 【編集/加藤】 |